

# 令和8年度福津市基金運用計画

令和8年5月末作成

## 【目的】

福津市資金管理運用方針に基づき、福津市の管理する基金について、安全性及び流動性を担保した上で、国内外の金融環境の変化に応じて、柔軟かつ効率的な運用を行うため。

## 【期間】 令和8年6月～令和9年5月

※毎年度の事業実施後、決算調整のための基金積立て・取崩しを出納整理期間の5月末に実施するため、本計画は当年度の6月から次年度の5月までの期間とする。

本計画は、次の5項目で構成し、今後は必要に応じて資金管理運用会議を開催し協議するものとする。

①取引先金融機関および債券発行体の経営状況

②基金残高の見込み

③令和8年度の歳計・歳計外現金の収支

④令和8年度の基金の債券での運用

⑤令和8年度の基金の預貯金等での保管

## ①取引先金融機関および債券発行体の経営状況

現状、預貯金先金融機関、取引先証券会社、保有している債券発行体について経営状況に特に問題は生じていない。引き続き、経営状況の把握に努める。

なお、資金管理運用会議のメンバーは積極的に研修等を受講し、経営状況の分析および情報収集のため能力向上を図る。

## ②基金残高の見込み

令和8年度以降の基金残高の見込みは、「令和8年度予算の編成(基金残高の推移)」および「中期財政見通し(令和8年度～令和12年度)(基金残高の見通し)」のとおり。

普通会計における令和8年度末に取崩しが必要な額は約10億円(積立・取崩しの相殺後の額)であり、令和9年度以降も大きな資金需要と基金取り崩しが見込まれる。

## ③令和8年度の歳計・歳計外現金の収支

令和7年度は歳計・歳計外現金の資金不足に伴い、令和7年12月から3月末にかけて最大20億円の繰替運用による資金調達を実施した。令和8年度は新設小学校建設事業により大きな資金需要が生じることに加え、中東情勢による資材等高騰の影響が見込まれることから、令和7年度と同様もしくはそれ以上の歳計・歳計外現金の資金不足に陥る可能性がある。

そのため、きめ細やかな資金収支の把握に努め、資金不足が見込まれる場合は、繰替運用により資金調達を実施する。

## ④令和8年度の基金の債券での運用

現在保有している債券は7,174,048,846円で、基金全体の63.5%を占めている状況である。「②基金残高の見込み」のとおり、今後も大きな資金需要と基金取崩しが見込まれることから、流動性リスクを考慮し、令和8年度において新規の債券購入は実施しない。

## ⑤令和8年度の基金の預貯金等での保管

②、③、④の状況を考慮し、余剰資金に関しては定期預金での保管とする。保管期間は、歳計・歳計外現金の資金不足に伴う繰替運用の見込みを考慮し設定するものとし、最大令和9年5月末までとする。